

2020年7月9日
日立 ABB パワーグリッド社

日立 ABB パワーグリッド・インド社が、 インド国鉄の電気機関車向け変圧器を 12 億ルピーで受注

グローバルトップレベルの技術により、インド政府がめざす CO2 排出量ゼロと鉄道の電化に貢献

日立 ABB パワーグリッド・インド社(ABB Power Products and Systems India Limited)は、インド国鉄の電気機関車工場である Chittaranjan Locomotive Works(チッタランジャン機関車工場、以下、CLW)から、客車を牽引する機関車および貨車を牽引する機関車 400 両で使用される変圧器 12 億インドルピー(約 17 億円)*相当を受注しました。日立 ABB パワーグリッド社(Hitachi ABB Power Grids Ltd.)は、本プロジェクトを通じて、10 年後までに世界初の CO2 排出量ゼロをめざすインド政府のミッションに貢献していきます。

日立 ABB パワーグリッド・インド社の代表で、日立 ABB パワーグリッド社の南アジア担当役員である Venu Nuguri(ベヌ・ヌグリ)は、「CLW からの受注は、日立 ABB パワーグリッド社にとって名誉あるものです。今回の受注は、お客さまとの 20 年にわたるパートナーシップを強化し、責任ある方法で経済を発展させるというインド政府のミッションに貢献します。鉄道は、環境に配慮した持続可能な輸送インフラであり、当社の先進的な技術は、エネルギーの拡大と CO2 排出量の削減の両立に貢献します。」と述べています。

日立 ABB パワーグリッド・インド社は、過酷な気候条件に耐える耐久性を備え、安全性とエネルギー・環境効率を最大限に高めた変圧器を供給しています。

電気機関車は、架線などの外部電源から電力を受電する際、変圧器によって電圧を適切なレベルまで下げ電動機で動力に変換し走行します。変圧器の種類は、鉄道の電化システムによって異なります。

日立 ABB パワーグリッド・インド社は、本プロジェクトにおいて、CLW の貨車を牽引する機関車で使用される 6,531 キロボルト・アンペア(kVA)の変圧器と、客車を牽引する機関車で使用される 7,775 キロボルト・アンペア(kVA)の変圧器を納入します。これらの変圧器は、列車の重要な機能(牽引、照明、暖房、換気、ブレーキ、信号、通信など)に電力を供給します。また、列車の性能とオペレーターサービスを促進します。

* インドルピー=1.4 円(2020 年 7 月 9 日時点レート)にて計算。

■日立 ABB パワーグリッド社について

日立 ABB パワーグリッドは、日立と ABB 社で合わせて約 250 年の歴史を持つグローバルテクノロジーリーダーであり、90 カ国で約 36,000 人の従業員を擁しています。スイスに本社を置き、電力、インダストリー、インフラ産業のバリューチェーンに加えて、モビリティ、スマートシティ、蓄電やデータセンターなどの新分野にも事業を展開しています。日立 ABB パワーグリッド社は、グローバルトップの導入実績やフットプリントを生かし、お客さまの社会的価値、環境価値、経済価値のバランスを向上させます。また、より強じん、よりスマート、よりクリーンなグリッドを実現するためのパートナーとして、革新的なデジタル技術により“Powering Good for Sustainable Energy”を実現していきます。

詳しくは、ウェブサイト(<https://www.hitachiabb-powergrids.com/jp/ja/>)をご覧ください。

日立 ABB パワーグリッド・インド社は、ABB Power Products and Systems India Limited という法人名で運営されており、インド証券取引所(National Stock Exchange of India Limited、NSE)および BSE Limited(BSE)に「POWERINDIA」(Scrip code 543187)として上場しています。

以 上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
